

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎
(TEL. 052-446-6100)

中国XuanZhu Pharma Co., Ltd. との業務提携のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、XuanZhu Pharma Co., Ltd.（本社：中国山東省、CEO/集団首席科学家：Dr. Frank Wu、以下「XuanZhu社」）との間で、新しい鎮痛薬の創出を目指し、特定のイオンチャネル（注1）についての共同研究契約（以下「本契約」）を締結することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 業務提携の理由

本提携により、当社がこれまで蓄積してきた特定のイオンチャネルに関する知見とXuanZhu社が有する探索研究の技術・人材・資金を組み合わせることによって新しい鎮痛剤の創出を目指してまいります。

2. 業務提携の内容

本契約において両社は、協力して鎮痛薬の開発候補化合物を3年以内に創出することを目指します。当社は、本契約により契約一時金を受領すると共に、イオンチャネルと鎮痛領域の探索研究に関する独自の技術ノウハウ・人材を提供し、本共同研究から見出された開発候補化合物について、全世界（中国、台湾、香港およびマカオを除く）での独占的な事業化権及び第三者へのライセンス許諾権を取得いたします。XuanZhu社は、探索研究の技術・人材・資金を提供し、開発候補化合物創出後は、中国での臨床試験開始に向けて必要な前臨床試験を実施しIND申請（注2）を行います。さらにXuanZhu社は、医薬品の製造販売承認に向けて必要な非臨床及び臨床試験を実施し、中国、台湾、香港およびマカオにおける独占的な製造販売権を取得いたします。さらに両社は、自社の事業化地域から得た収入の一部を相手方に配分することで合意しております。

3. 業務提携の相手先の概要

(1)名称	XuanZhu Pharma Co., Ltd.	
(2)所在地	High-tech Zone, Jinan, Tianchen Road, No.2518, Shandong, Shandong, China	
(3)代表者	Frank Wu	
(4)事業内容	医薬品事業	
(5)設立	2002年	
(6)大株主及び持株比率	Sihuan Pharmaceutical Holdings Group Ltd. (100%)	
(7)上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(8)当該会社の概要	XuanZhu Pharma Co., Ltd. は、中国において革新的な医薬品の研究開発を行う創薬企業です。XuanZhu社は、2002年に Sihuan Pharmaceutical Holdings Group Ltd.（香港証券取引所 Stock Code: 0460、以下「Sihuan社」）の完全子会社として資本金5,000万円で設立され、NCE（新規化学物質）にフォーカスして探索研究を行なっています。 XuanZhu社では、感染症、心血管疾患、がん、糖尿病など7つの疾患領域を研究開発の対象としています。これまでに、ドラッグデザイン・合成センター、薬理学・薬効薬理センター、薬物動態・薬物代謝センター、初期安全性評価センター、原薬スケールアップセンター、製剤研究開発センター、等の複合的なテクノロジー	

	<p>ープラットフォームを確立しています。加えて、ドラッグデザインや薬剤のスクリーニング・評価から、IND 申請から医薬品承認申請に至るまで、新薬の探索研究・臨床開発・承認申請の完全なシステムを形成しています。</p> <p>XuanZhu 社は、中国での創薬研究開発の分野で主導的な地位にあり、世界クラスの革新的な薬剤の研究開発プラットフォームの構築に努めています。</p>
--	--

※XuanZhu 社は、Sihuan 社の完全子会社であり、「資本金」及び「最近3年間の連結経営成績及び連結財務状態」が不明であるため、記載しておりません。

(参考情報：Sihuan Pharmaceutical Holdings Group Ltd. の概要)

(1)名称	Sihuan Pharmaceutical Holdings Group Ltd. (香港証券取引所 Stock Code: 0460)		
(2)所在地	21 st floor of Building 2, Balizhuangxili Zhubang 2000 (Business Center), Chaoyang District, Beijing, China		
(3)代表者	Che Fengsheng		
(4)事業内容	医薬品事業		
(5)資本金	85,610 千元		
(6)設立	2001 年		
(7)上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(8)当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財務状態 (単位：人民幣千元)			
決算期	Dec 31, 2014	Dec 31, 2013	Dec 31, 2012
連結決算純資産	9,291,677	7,821,459	7,041,612
連結総資産	11,322,983	10,097,075	9,482,585
連結売上高	3,084.24	2,586.40	3,042.53
連結営業利益	1,936.41	1,469.84	1,025.66
1株当たり連結当期純利益	0.16	0.12	0.09
1株当たり配当金	0.03	0.03	0.04

4. 今後の見通し

本件により当社は契約一時金を受領し、平成27年12月期第4四半期に事業収益として計上いたします。本件による平成27年12月期通期個別業績に対する影響につきましては、平成27年12月22日に公表した平成27年12月期 (平成27年1月1日～平成27年12月31日) 通期個別業績予想のとおりです。

5. その他

当社代表取締役社長の谷直樹は、本契約について「革新的な鎮痛薬の開発においてXuanZhu社と共同研究を進められることを大変嬉しく思います。それと同時に、世界第2位となる中国医薬品市場において、強力なパートナーを得られたことは我々にとって大きな力となります。XuanZhu社は、2005年より新薬の探索研究を開始し、2011年に中国において1.1類 (注3) の新薬について臨床開発を進めています。その類まれな研究開発力を有しているXuanZhu社との協力体制の下、革新的なアプローチで新薬を創出し、近い将来に新しい鎮痛薬を世界中の患者さんにお届けできることを期待しています。」とコメントしております。

(注1) イオンチャネルとは、細胞膜上にイオンの通り道を形成する膜貫通型タンパク質の総称です。細胞内外に存在するイオンを透過することによって、膜電位の維持・形成を行ないます。興奮性細胞では活動電位を発生させ、知覚神経や運動神経における情報の伝達や様々な組織での神経伝達物質の放出を調節しています。このようにイオンチャネルは生体内で重要な役割を果たしています。

(注2) IND：Investigational New Drug の略、新薬の臨床試験開始届のことです。

(注3) 1.1類：中国では医薬品の製造販売承認申請に際し、他国での承認・販売状況等を基準に大きく3種に分類されています。1.1類の「新薬」とは、世界的にも未承認・未発売の医薬品を指します。

(参考) 当期業績予想 (平成 27 年 12 月 22 日公表分) 及び前期実績

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 27 年 12 月期)	百万円 146	百万円 △1,910	百万円 △1,838	百万円 △1,865
前期実績 (平成 26 年 12 月期)	百万円 153	百万円 △2,122	百万円 △1,942	百万円 △464